

孫文と日本、そして滔天

special close up 02



▲ 孫文 (1866年-1925年) 写真提供: 社会教育課

1911年——今から99年前に起こった中国の民主化革命である「辛亥革命」は、現在の日本に住む私たちにあって、なじみが薄いものであるように感じる人もいないだろうか。

しかし中国を大きく変革するきっかけとなった「辛亥革命」は、孫文を支援した多くの日本人の存在を抜きには語るできないのである。

孫文は中国からほど近い日本を革命の拠点の一つとし、宮崎兄弟を始めとする日本人支援者から物心両面の支援を得て、革命への階段を上っていった。

高い理想を掲げる孫文と志を同じくする中国人と日本人、また、さまざまな思惑を抱く両国人。それぞれの思い

と行動が交錯し、大きなうねりとなって辛亥革命を引き起こした。

革命家・孫文

孫文には、確かに革命家としての資質が備わっていた。人を引きつける才能と情熱があり、目標を定めると物事にこだわらずにまい進した。また、楽天主義であり、欲がなく金銭にもこだわらない人物だった。

孫文は幼いころ、既に革命家の一歩を踏み出していた。広東省の農家に生まれ、幼いころから知識欲が旺盛だった孫文は、学者で村塾を開いていた叔父から、太平天国の乱(1850年)とその指導者・洪秀全について語り聞かされた。このことは清朝政府に対する強い反感と、「第二の洪秀全」になりたいという革命家としての思いを芽吹かせるきっかけとなった。

13歳の時、孫文は、ハワイに移民として渡り成功した兄の下に身を寄せ、カトリック系の学校で学んだ。そこでキリスト教を信仰するようになったことで、強い中華思想の持ち主であった兄の怒りに触れ、郷里に帰されている。

その後広州・香港で医学を学んで医師となり開業もしている。しかし、清朝政府の圧政に苦しむ中国で、医学や

革命の趣旨と方法を問い質したという。「中国を民主化するためには革命が必要であり、革命で中国を救う事は、アジアを西欧列強の支配から解放することになる」

孫文の明快な革命への理想と、彼が革命家としての資質・人となりが生み出す言葉は、滔天に深い感銘と共感を与え、孫文こそ真の革命者であると確信した。それから滔天は、孫文と中国革命をあらゆる人脈と金策をもって支援し続けることになる。

滔天は今でも、孫文が最も信頼した日本人の一人として名が挙げられる人物である。

その信頼は、滔天が貰った一日本人志士としての姿勢にあった。

日本人志士の中には、思惑の違いなどで袂を分かつものもあった。また、明治維新後、日本国内の政情も未だ不安定であり、「富国強兵」「脱亜入欧」の道突き進み、国益や利権・私欲から孫文や中国革命を見るものもいた。

慈善事業で人を助けることには限界を感じていた。まず清朝政権という満州異民族支配・皇帝専制支配と、腐敗した官僚による政治によって疲弊し、列強から引き裂かれようとしている中国を大本から変革することが必要であると断じ、革命を決意した。

孫文と日本

1894年にハワイで革命支援組織である興中会を組織し、翌年、香港で香港興中会を結成、広州で一回目の武装蜂起を計画した。

この後16年を掛け、数多の蜂起と失敗を繰り返しながら、辛亥革命は成就することになる。

孫文が最初に日本を訪れたのは、1895年(明治28)のことである。

同年広州での武装に失敗し、賞金を掛けられて追われることになった孫文は、2人の同志と共に日本に亡命した。

最初から日本を目指したわけではなく、清朝政府の追及から逃れるために一刻も早く中国を離れる必要があった孫文は、医学時代の師らの手助けもあり、ひとまず日本行きの船に乗り込んだのである。

3人は神戸を経由し、横浜に入った。その当時の横浜には華僑が千人ほど暮

らに立って行動し、揺るぐことはなかった。また、中国革命の成就に尽力しながらもあくまで「客分」として一線を引き続け、時には日本政府の動きにも批判的であったのも滔天である。

彼が示したこれらの一貫した姿勢は、孫文以外の中国人革命家にも畏敬された点であった。

その後、孫文の中国革命において、日本という場所は一つの大きな役割を果たすようになる。地理的に中国に近いことや、日露戦争後に中国から日本への留学生が増大し、革命を志す人材が集っていたことも要因であるだろう。

日本人志士・宮崎滔天

1897年(明治30)、宮崎滔天は横浜で孫文と初対面を果たす。その時滔天は、犬養毅を通じて外務省から委託された中国の秘密結社調査から帰国したばかりであり、孫文はカナダから日本に再上陸したばかりであった。

孫文に会うなり滔天は、孫文が志す



▶ 昭和40年に建立された「孫文、滔天両先生先覚回天記念像」。運動公園東側駐車場の一角にある。孫文(右)と滔天(左)のレリーフの間には「世界は一つ」の文字が刻まれている。